



家具・什器・インテリア 家具

株式会社維鶴木工

維鶴木工は、都会から遠く離れた、山のなか、木の産地「吉野」にある木工所です。良質な吉野桧、吉野杉を使った椅子や、特注、試作、修理など、様々な木工製品を製造販売しています。

新鮮な空気と、澄み切った水。美しい森と、暖かい村人たち。どこよりも素晴らしい環境で、真摯に誠実に、ただひたすら家具づくりに励んでいます。

特に注力しているのは椅子を作る技術です。強く・優しく・美しい椅子を提供するため、より高いクオリティを求めて日々研究、設計、製作しています。セミオーダー、フルオーダーのご相談にも積極的に取り組み、「椅子のことなら維鶴に」と信頼していただける会社を目指します。



■マルト醤油



椅子を中心にさまざまな家具を製作

自社商品ラインナップとして、吉野松の椅子をメインに取り扱っています。ダイニングチェアやソファ、その他オーダーメイドでの製作も可能です。



数々の賞を受賞した スツール

吉野松と国産ペーパーコードを使ったスツールは、グッドデザイン賞や、ウッドデザイン賞など数々の賞を受賞し、注目を集めています。カウンター用ハイスツールや、ミニスツールと合わせて3つのラインナップがあります。



自社商品、オーダーメイド製作家具について、様々な非住宅施設様への納品実績があります。少量の生産はもちろん、手作りながら、他企業の協力により大量生産も可能です。

また、スツールにおいては、既製品だけではなく、お客さま自身が製作できるキットも製作販売しており、高い評価をいただいています。こちらは、全国のインテリアショップや家具店、雑貨店様へ卸販売もおこなっています。

このように、維鶴木工では幅広いご提案が可能です。別注家具から、商品開発まで、吉野材で製作する木製品のことなら、どんなことでもご相談ください。



株式会社維鶴木工

633-2301
奈良県吉野郡東吉野村瀧野507
TEL: 0746-44-9540 FAX: 0746-44-9541
Mail: izuru@izr.jp





家具・什器・インテリア 家具

KIRIDAS

KIRIDAS は、十津川村の木を使い、十津川村で作られた家具や木工品を製造、展示・販売する拠点として、村の木工家が集まって運営しています。「KIRIDAS(キリダス)」という名前は、山から木を伐って運び出すことを意味する「伐り出す」という言葉に由来し、「山への畏敬の念、感謝の思い」、そして「山で働く人々への感謝の気持ち」が込められています。



TOTSUKAWA LIVING

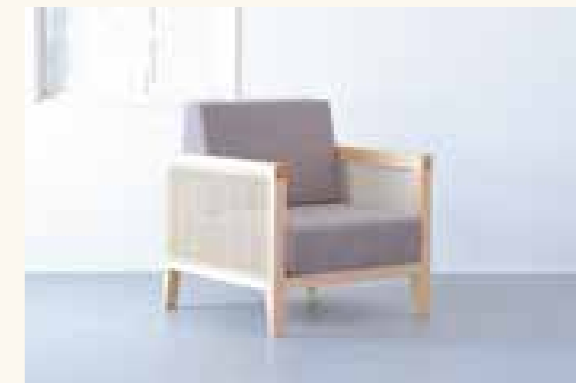
家具デザイナー岩倉栄利氏監修の杉や桧を用いた家具のシリーズです。無垢材を加工したパーツ構成による、シンプルな構造とフォルムを追求しました。杉の木口面を並べて天板にしたテーブルや、杉材に柿渋を塗装したソファ、ベッドなど様々な家具をそろえています。





KIRIDAS ORIGINAL

デザインから制作までを自社でおこなった家具のシリーズです。シンプルな枠のフレームに籐を組み合わせた、さわやかな印象のチェアやキャビネット、杉の柾目(まさめ)材のストライプが印象的なローテーブルやソファなどをラインナップしています。



家具全般について定番商品を豊富にラインナップしていますので、カタログやHPより簡単に発注いただけます。また、お客様のご希望に合わせた完全特注品にも対応しています。

その他、テーブルウェア等の木工小物も受注、製作しています。

KIRIDAS

KIRIDAS

〒637-1214
奈良県吉野郡十津川村山崎278
TEL: 0746-67-0123 FAX: 0746-67-0124
Mail: kiridas_totsukawa@kcn.jp





家具・什器・インテリア 家具

木工 森

木工 森のある吉野は、世界でも類を見ない約500年の植林を有し、その長い歴史の中で培われてきた技術と寒暖差の激しい自然によって、他にはない美しく良質な材を育み続けています。

そこで育てられる美しい吉野杉を、日本の特徴的な木工技術である鉋(かんな)を使って形にすることによって、日本の木、日本の技術の良さを伝えるモノづくりを心がけています。



滑らかな曲面によって生まれた、温かく優しい座り心地

木とは思えないほど温かく優しい座り心地の椅子。背や座に柔らかく温かい吉野杉を使用し、それを鉋(かんな)で滑らかな曲面に仕上げることによって、木の椅子とは思えないほど温かく優しい座り心地になります。



木の美しさ、質感を最大限に引き出すために、鉋による造形、仕上げにこだわっています。



カウンター天板や手すりなども、鉋での手加工によって、機械加工では表現できない柔らかさや温かみのある造形が可能となります。



木工 森

〒638-0011
 奈良県吉野郡下市町仔邑492-1
 Mail: morkou.mori@gmail.com





家具・什器・インテリア 家具／什器

I PROP

PROPは、大阪の門真市で30年以上無垢材にこだわったオーダーメイド家具を製作してきた永田健一(屋号：ZOO)の呼びかけにより、その弟子である湯浅則夫(前職：奈良県高等技術専門校家具工芸科指導員)とともに奈良県吉野町に工場を移転して始まりました。

大阪では設計事務所や工務店から依頼を受け、主に住宅向けの別注家具を製作してきました。移転後、製材所の町、吉野貯木の中にある木工所として次第に認知され、吉野材を使用した店舗什器や内装の仕事も増えてきています。



■店舗什器、外観(吉野杉)



■店舗什器(吉野杉)



■店舗什器、作業台(吉野杉)



■店舗什器、商品棚(吉野杉)



■店舗什器、展示台(吉野杉)



Photo: Kazuki Nakamori

■高さ調節機能はありません。脚の延長で行います。(吉野杉)

吉野杉の学習机

「もしもPROPが、教室で使われる学習机を作らせていただけたら…」その思いで製作したのがこの商品です。吉野杉を使用し、コストを抑えつつ子どもたちが使いやすいシンプルなデザインに仕上げています。それはこの商品のコンセプトとして、入学時に新造し、在校中使い続け、卒業時にプレゼントしていただくことを考えたからです。

おうちに置いても、大人になっても使っていただける家具として、子どもたちの時間を記録したレコーダーとして、「大人が子どもに与えたい木の家具とはなんだろう」。そんな思いをもって一緒に考えてくださる場所へお届けしたいと願っています。



■材料を選び、一枚一枚組み合わせを考えます。



■吉野の製材所にてはぎ合わせをします。



■接着が固まったら厚みを削り仕上げます。



■赤身の板目、節の少ない吉野杉パネル材。

家具製作から、パネル材によるオーダーメイドまで

私たちは、長年技術を培ってきた家具製作はもちろん、製材所の協力を得て吉野杉や吉野桧をパネル材に加工することができます。厚みや大きさが規格化されたパネル材は、面積を必要とする家具や造作の材料として非常に便利です。

収納、天板、カウンター、パーテーション、机、椅子、棚、壁、建具等、活用法は様々。そのパネル材を良質な吉野材を使用し、オーダーメイドで製作します。

既製のパネル材よりも高価にはなりますが、節のないもの、柾目(まさめ)だけのもの、一本の原木を使って、地産地消、間伐材の利用など、品質やストーリーを重要視するケースにおいて、製作・施工にかかるコストを抑えることができます。



PROP
WOOD FURNITURE MAKERS

PROP
〒639-3118
奈良県吉野郡吉野町橋屋57-11
TEL/FAX: 0746-42-8180
Mail: prop@cb.wakwak.com





家具・什器・インテリア 家具／什器

吉野杉デザイン研究所 (吉野中央木材株式会社)

吉野杉デザイン研究所は、川上(林業、山守)から川中(製材業・木工所)、川下(家具デザイナー・プロダクトデザイナー・建築家・木工家)までが集まった集団です。身近にある森林資源を私たちの生活の中で活かすことにより、持続可能かつ豊かな社会の実現を目指しています。

各分野のエキスパートが川上から川下までつながることで、それぞれの課題や特徴を共有しながら、新しいアイデアで社会に提案します。主に針葉樹(杉・桧)を家具や空間に適材適所に使い、環境負荷のかからないものづくりを得意としています。



■オリジナル家具の集合写真



■吉野杉デザイン研究所のメンバーとオリジナル家具たち



■直径60センチの大径木の丸太を大胆に切り取ったソファセット



■直径20センチの小径木の丸太から作られた椅子



■メンバーが集まって、製品開発の様子





■吉野杉と吉野松の特徴を活かした展示ブース

木を活かした空間づくり

「木を活かした空間づくり」を得意としています。デザインと製作を行った「第89回東京インターナショナル・ギフト・ショー春2020」の「奈良の木の椅子」をテーマにした奈良県展示ブースは、繰り返し何度も使えるように、分解が可能となっています。建築材に用いられる柱材(杉と松)も用いており、芯持角や芯去角と木取りの違いで生まれる木目の美しさも見てもらえるようになっています。建築の要素もありながら、大きな家具ともいえる存在です。

「木」本来が持つ美しさ、人を惹きつけるデザイン性、組み立てのしやすさや分解して繰り返し使える機能性を併せ持っているのは、まさに川上から川下まで各々の役割や技術を熟知したメンバーが集まった「吉野杉デザイン研究所」だからこそできることです。



■吉野杉の横格子



■パンフレットラックの取り付けが可能



■四方を木に囲われており、木の良い香りに包まれる



■吉野松を用いた、組み立て式の屋台

木製の「屋台」

私たちは、商業施設や店舗など様々な場面で活用できる木製の「屋台」のデザイン・製作もおこなっています。吉野杉デザイン研究所のオリジナル屋台「ヒノキヤタイ」は、イベントやマルシェなどで活躍しています。デザインをオープンにしているため、全国各地(奈良、京都、大阪、和歌山、東京、埼玉、大分)と海外(ルワンダ)にも広がっています。ワークショップとして、地域の木材を用いて、地域の方々が作り上げるサポートもおこなっていますので、興味のある方はぜひお問い合わせください。



■企業の新入社員研修の一環で、社内交流で使う屋台を製作



■和を感じるデザイン



■屋台を分解すると、コンパクトになる



■マルシェでも活躍中



TOSHINOSUGI
DESIGN
LABORATORY

吉野杉デザイン研究所 (吉野中央木材株式会社)

〒639-3118

奈良県吉野郡吉野町橋屋57

TEL: 0746-32-2181 FAX: 0746-32-2863

Mail: teruichi@homarewood.co.jp





家具・什器・インテリア 家具／インテリア

studio Jig

studio Jigは吉野林業発祥の地、川上村にて創業しました。吉野材の主産地である川上村で事業を行うことで、高品質の吉野材を自ら目利きして仕入れることが可能です。海外で身に付けた特殊な三次元曲木と、500年の歴史を持つ吉野杉・桧を掛け合わせ、これまでにない吉野材の利用価値を追求しています。将来的には、吉野の歴史、吉野材の魅力を海外にも発信していきたいと考えています。



■6mの吉野杉を使用し、4mベンチに仕立てました。



■地板の柄に色調を合わせる為、背板は吉野桧を使用。



天然一枚板を座面とし、吉野杉、吉野桧を背板に使用した特注ベンチ

待合室やピロティなど、不特定多数の往来がある場所へ、両側から座れるデザインをしたベンチです。天然一枚板を座面とし、それに合わせて背板を曲げているため、一つとして同じ形はなく唯一無二のデザインが可能です。天然一枚板特有の個性、力強さと、吉野材の美しい木目と流れるようなラインは、空間を引き立て、時には主役となることも可能です。





■作品名「CJ2 legless chair」



■オブジェ「承継」



■オブジェ「実り」



■和洋どちらにもあうデザインです。



■作品名「CJ3 counter chair」



■作品名「CJ6 low rocker chair」



■計画敷地に自生していたケヤキを使用しました。 ■同じケヤキで、階数表示サインも曲木で制作。



■パン屋へ納入、小麦をモチーフに構成しました。

空間のコンセプトに沿ったデザイン

空間の設計段階から依頼をいただくことで、建築に付随した恒久展示のオブジェを提案することが可能です。空間のコンセプトに沿ったデザインのオブジェや、その土地にゆかりのある木材を使用したオブジェなど、自由度が高く、建築と作品の魅力を最大限に引き出すことができるアートワークをご提案します。

また曲木を使用して、簡単なアルファベット、数字を一筆書きで表現することもできますので、施設名表記や各階階数表示等、他にないサインの製作が可能です。

吉野杉×フリーフォームラミネーションを使用した曲木造形家具

studio Jigの製品は、主に吉野杉を使用して、フリーフォームラミネーションと呼ぶ特殊な三次元曲木を用いて製作しています。一般的に、杉材は軽く軟らかいため、家具用材には不向きとされてきました。しかし、年輪の緻密な吉野杉の薄い単板を何枚も重ね、積層し圧着する技術により、接着材の強度をそのまま木材の強度へ補填し、軟らかい杉材でも家具を製作することができました。また緻密な年輪自体が、杉材の成せる最大限の強度を持っています。フリーフォームラミネーションという技術は、通常の積層合板と違い、雌雄の型を用いないため、型の制限を超えた自由な造形を生み出すことが可能です。3次曲線を用いることで、強度の必要な仕口を使用せずに家具を構成しています。また流れるような流線形は他に類を見ない造形を実現しています。この技術を用いた家具は世界的に見ても非常に希少です。



studio Jig

〒639-3543
奈良県吉野郡川上村大滝139
TEL: 070-2837-5298
Mail: info@studiojig.com





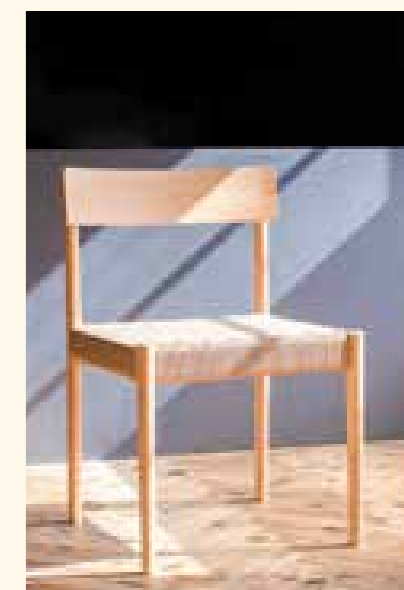
家具・什器・インテリア 家具／インテリア

nisi-bi

nisi-biは林業が盛んな奈良県吉野地方の最南端、十津川村にある家具工房です。
 木の素材感や美しさを活かした家具づくりを目指しています。
 材料は国産木材、主に奈良県産の桜を使用。
 地元の製材所と連携し、国産の良質な木材を仕入れています。
 仕上げには自然由来の塗料を使用。全ての家具はメンテナンス、修理が可能です。
 特注家具の製作も承ります。



ダイニングチェアやテーブルをはじめとしたオリジナル家具をラインナップしています。
 使用する木材の色味や質感、特質に合わせたデザインを心がけています。
 機械による加工と職人の手仕事とを組み合わせ、効率性と丁寧な仕上げを両立しています。





特注家具はサイズやデザイン、使い勝手等お客様の細かなご要望をお聞きし、職人が丁寧に製作いたします。
テーブル、椅子、棚や店舗什器等の様々な製作物に対応いたします。



テーブルウェア等の小物の製作も行なっています。
ご要望に合わせた特注品の企画・製作も可能です。

nisi-bi

nisi-bi

〒637-1214

奈良県吉野郡十津川村山崎278

TEL: 090-1805-2670

Mail: n.nakayama@nisi-bi.com





家具・什器・インテリア 家具／インテリア

MURAO FURNITURE

私たちMURAO FURNITUREでは、「作り手の欲しいもの」を素直にデザインし、製作しています。
オーソドックスでありながら独創的な家具や、木材の個性を生かしたユニークで存在感のある器などをラインナップしています。

SHORE CHAIR

ひじ掛けの4点の紐をゆるめることで、折りたたみが可能となったパーソナルチェアです。

フレームにはサクラ材、座面と背もたれは厚手の帆布を使用し、経年変化を楽しめるオイルフィニッシュを施しています。

リビングルームから、屋外のテラスやキャンプまで幅広くお使いいただけます。





表情豊かな木材を生かしたユニークで存在感のある器は、菓子皿や小物置きとして。



TROPIC CHAIR

職人によって手編みされた美しく、涼しげな籐材の座面・背もたれと、堅牢なケヤキ材のフレームが特徴的なリラクステアです。

暖かい地域のリゾートをイメージして、デザインされています。座面高はやや低めで、アームレス仕様なので、より自由な姿勢でお使いいただけます。

それぞれ、ケヤキの他、サクラ、カエデ等での製作も可能です。

MURAO FURNITUREでは、定番商品の販売だけでなく、特注家具のデザインから製作までを一貫して請け負っています。

オリジナル商品などの商品開発にもお役立てください。

MURAO

MURAO FURNITURE

〒637-1214
奈良県吉野郡十津川村山崎278
TEL : 080-5076-4708
Mail : murawomamoru@icloud.com





家具・什器・インテリア 什器

株式会社一ノ坪製作所

株式会社一ノ坪製作所は、昭和23年創業のオフィス家具・事務機器用ラック・住宅部材等を設計・開発から製造まで一貫して手がける企業です。創業以来技術を磨き続けてきた当社の金属商品と奈良県産材を組み合わせ、何か地域に貢献できることはないかと思い、新商品「奈良の木を活かしたディスプレイスタンド」を開発しました。この商品を通じて、「奈良の木」の良さを少しでも知っていただければと願っています。



■吉野松(集成材)



■吉野杉(集成材)

奈良の木を活かした ディスプレイスタンド

奈良県の代表的な吉野材(杉・松)を使用したディスプレイスタンドです。自社工場で培った品質・技術をベースに金属製品の持つ耐久性と、木材の持つ柔らかな温もりを組み合わせ、洗練されたデザインに仕上げました。



■奈良の伝統工芸である「樽」をイメージしたデザイン



■ハイスタンド



■ロースタンド

キャスターによる可動性や、
各種配線の収納機能など実
用面も兼ね備えた製品です。



■ハイスタンド(背面)



■ロースタンド(背面)



■壁面モデルなど他デザインもご相談ください

私たちの金属加工技術と「奈良の木」が融合したディスプレイスタンドは、広告や標識、看板など、ディスプレイを通じた情報の発信とともに、「奈良の木」の温もりが店舗や駅、公共施設の空間をやさしく彩ります。デジタル機器と木の柔らかさで演出された、地域社会の人と人が繋がる居心地の良い空間づくりに最適です。

用途や使用するディスプレイ含め、ご要望に応じて一台からオーダーメイドのご相談も可能です。



株式会社 一ノ坪製作所

ICHINOTSUBO MANUFACTURING CO., LTD.

株式会社一ノ坪製作所

〒639-0264

奈良県香芝市今泉625番地

TEL: 0745-76-3181 FAX: 0745-76-3187

Mail: kiyohara@ichinotsubo.co.jp





家具・什器・インテリア 什器

KIZAIKU C+

「木の香りがすごいですね」。工房に初めて訪れたお客さまが必ずといっていいほど、おっしゃられる言葉です。無垢の木は、木によっていろいろな香りがします。

杉の無垢の木を使用し、杉の木のいい香りをできる限りお届けしたい。その想いで立ち上げたのが「KIZAIKU C+」です。培ってきた技術と製法で、香りを最大限お届けすることこだわっています。

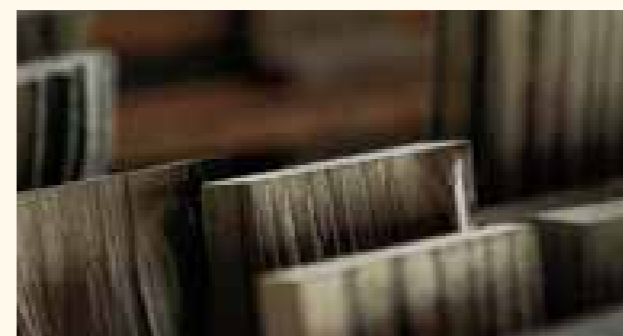
その製法の一つに、鉄媒染による木の染色があります。塗装を施さず、木の色目を変化させることによって、木の表面を素地のままに保つことが可能となります。この染色に魅せられ、納得のいく色目に染色するために、さまざまな媒染液をつくっては試作を重ね、ようやく、思った色目が出せるようになりました。



■自然素材でつくるパーテーション



■やすらぎの個室空間

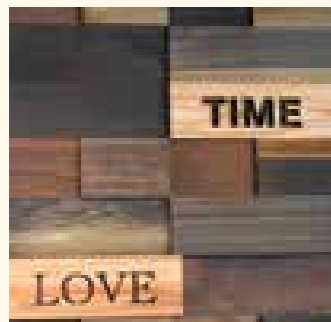


独特な雰囲気醸し出す、グレー・ブラウン

KIZAIKU C+が求めた色目は古木風のグレーや濃いブラウン。染めることで木目や年輪がぼやけず、天然素材であるため木によって様々な色に染まるという特徴があります。木のナチュラルな色目もちろん良いですが、染めてつくった杉の木の色目は、空間に独特な雰囲気を醸し出します。手仕事で仕上げているので、お時間をいただくこととなりますが、本物の木そのままの魅力を感じてもらえればと思っています。



■パーテーション「KUMIKI～組木～」



パーテーション「KUMIKI～組木～」

端材や規格外製品の、有効利用ができないか。そんな想いが生み出した、サステナブルなパーテーションです。染色することで年輪が引き立ち、深い色合いが生まれた厚みの違う板をランダムに組み上げています。

濃い色目のインダストリアルなデザインは、空間を引き締めながら、無垢の木のやさしい空気を創り出してくれます。



■パーテーション「WARIHADA～割肌～」



■割肌素材アップ



■染色の様子

パーテーション「WARIHADA～割肌～」

余計なものを極限まで削ぎ落とし、木のもつ個性を最大限まで追求した結果、斧で割り、染色するだけの表現にたどり着きました。

自然が生み出す年輪が、自然な凹凸を創り出してくれるから、一枚一枚が無垢で大胆な表情を見せます。大地のエネルギー、生命の力強さを感じさせる、世界でひとつだけのパーテーションです。



KIZAIKU C+は、「クリエイティビティを刺激する、リラクゼーション空間を創り出したい」という想いで製品づくりをしています。端材や規格外製品の国産材をさまざまな手法で加工し、実用性、デザイン性を損なわない新しい壁板(パネル)を提案します。両面に意匠を施し、アイロンの支柱と組み合わせると、パーテーションとして簡単に空間を区切ることが可能です。

壁用のアクセントウォールとしての壁板(パネル)も、オーダー加工で製作いたします。染色材の深い色目は、今までの国産材にはない独特の雰囲気を持ち、個性豊かな空間を演出します。また、レーザー加工機による彫刻、木材カットでオリジナルロゴや店名などが製作可能です。



KIZAIKU C+

〒633-2151

奈良県宇陀市大宇陀大東163

TEL: 0745-83-3453 FAX: 0745-83-1305

Mail: info@kizaiku.com





家具・什器・インテリア インテリア

吉谷木工所

神具の時代から新具の時代へ。吉谷木工所は、日本遺産にも登録されている曲げの技術「挽曲げ(ひきまげ)」を駆使し、創業1910年から100年以上の間、神具の三宝を作り続けています。木の端材でもある背板を有効活用しているため、環境にも配慮した安全で確かな吉野桧を使用しています



伝統技法「挽曲げ」

「挽曲げ」とは、桧の一枚板にスリットを入れて折り目とし、木のしなりを活かして色々な多角形を作ることができる伝統技法です。継ぎ目のない美しい仕上がりが特徴です。





伝統的技術を活用したマルチボックス「八宝」

伝統的な木材加工技術である「挽曲げ」を活用したマルチボックス「八宝」が「にっぽんの宝物 2020-2021」大会でグランプリを受賞し、2023年夏予定の世界大会への参加権を獲得することができました。八宝マルチボックスは、インテリアオブジェとして製作し、ダストボックス、棚、スマホスピーカーなど和洋折衷どんな空間にでも映える一品です。



曲げの技術で暮らしを豊かに

吉谷木工所は、神具の三宝製造だけでなく新しいプロダクト製造に着眼点を向け、曲げの技術を応用し、ライフスタイルに合わせたプロダクト製作で、人々の暮らしを豊かにする新たな価値創造に挑戦しています。感謝や祈願のおもてなしの心を「室礼(しつらい)」という文化を通して繋げていきたいと考えています。



吉谷木工所

〒638-0045
 奈良県吉野郡下市町新住41-10
 TEL: 0747-52-2447 FAX: 0747-52-1478
 Mail: info@yoshitani-sanbou.com



奈良県産材に関する相談窓口

奈良県産材全般について

■奈良県 環境森林部 県産材利用推進課

〒630-8501

奈良県奈良市登大路町30

TEL : 0742-27-7470



<https://www.pref.nara.jp/1673.htm>

奈良県産材の取扱事業者について

■奈良県木材協同組合連合会

〒633-0062

奈良県桜井市粟殿354番地

TEL : 0744-47-4350



<http://www.naraken-mokuzai.jp/>

発行元・問合せ

奈良県 環境森林部 県産材利用推進課

奈良県奈良市登大路町30 TEL : 0742-27-7470

2024年9月発行